

「日本茶AWARD」のうまいお茶部門で最高賞を受賞した「雪ふか」  
27日、鹿児島市呉服町の特香園本店(蕨田智史撮影)



## 特香園(鹿児島市)が最高賞

製茶メーカーの特香園(鹿児島市、栗畑茂隆社長)が、消費者に選ばれる茶の発掘を目指して初めて開かれた「日本茶AWARD」のうまいお茶部門で最高賞のプラチナ大賞を受賞した。栗畑政茂専務(42)は「うれしさとともに励みや自信につながる。茶の需要が低迷する中、鹿児島の家を元気づけるきっかけになれば」と喜びを語った。

有志らでつくる実行委員会が主催した。「うまいお茶」と「香りのお茶」の2部門に281点が出品され、23、24日に静岡県で審査会があった。通常の品評会より湯温をやや低めで入れるなど、消費者目線を意識し、味や香り、水色、外観を加点方式で採点した。

### 日本茶アワード

うまいお茶部門

12月6、7日に東京で披露会があり、消費者による人気投票を実施。プラチナ大賞を含む19点から「日本茶大賞」を決める。(濱田朋美)

鹿児島県関係の主な受賞者は次の通り(敬称略)。

【うまいお茶部門】普通煎茶  
3位 今吉耕己▽深蒸し茶2位  
小牧緑峰園、3位 今隈幸洋

コンテストは全国の茶業者